

創立 55 周年運営会議 年間事業計画書（案）

1. 会議構成メンバー ◎中田 康太、○矢田 敦子

2. 議長所信（基本方針）

本年度、安来青年会議所は創立 55 周年という節目の年を迎えます。時代の変遷とともに地域の抱える課題が変化する中、まちづくり、ひとづくりを軸とした類稀なる事業を展開し、変革の能動者として運動してこられた先輩諸兄姉による志の足跡を辿り、深い敬意と感謝の心で新たな決意を示すことが我々の責務であり、今まで以上に覚悟を持って運動を展開していくことが必要不可欠です。

まずは、LOM がひとつになって創立 55 周年に取り組むために実行委員会を立ち上げて LOM 全体の連携を図ります。そして、55 年間安来青年会議所の運動にご尽力いただいた先輩諸兄姉、運動を支えてくださった皆様に対し現在までの感謝をお伝えし新たなスタートを刻むとともに、創立 50 周年で策定した安来ビジョン「Bridge to the Future」を軸にした中期ビジョンを表明する場を設けます。さらに、未来への決意を示して積極的な行動への一歩へと繋げるために、5 年後の未来を見据えたメッセージを発信し、市民を含む多くの方々と共有します。また、責任ある市民として権利や義務を正しく理解し社会参画への関心や意欲を培うために、未来を担う子どもたちに安来市の将来について考えてもらう場を設けることでまちづくり運動を発信します。

地域を担うまちづくり団体としての覚悟と、自己成長から発信する強い信念をもって、真に地域に求められる青年会議所となれるよう恩うがままに邁進します。

3. 事業計画

1) 創立 55 周年勉強会の開催（2 月）

（目的）55 年間、類稀なる事業を展開し、変革の能動者として運動してこられた先輩諸兄姉による志の足跡を辿り、深い敬意と感謝の心で新たな決意を示す。

（方法）安来青年会議所の歴史について振り返り、55 周年を迎えることの重要性和責任を自覚してもらう場を設ける。

2) 創立 55 周年記念事業の開催（9 月）

（目的）責任ある市民として権利や義務を正しく理解することで社会参画への関心や意欲を培う。

（方法）未来を担う子どもたちに安来市の将来について考えてもらう場を設ける。

3) 創立 55 周年記念式典の開催（10 月）

（目的）55 年間安来青年会議所の運動にご尽力いただいた先輩諸兄姉、運動を支えてくださった行政、関係諸団体の皆様に対し、現在までの感謝をお伝えするとともに、安来ビジョン「Bridge to the Future」を軸にした中期ビジョンを表明する。

（方法）記念式典の開催並びに創立 60 周年へ向けた運動方針の発信。

4) 創立 55 周年記念講演の開催（10 月）

(目的) 未来への決意を示して積極的な行動への一歩へと繋げるために、5年後の未来を見据えたメッセージを発信し、市民を含む多くの方々と共有します。

(方法) 中期ビジョンを発信するために最も適した講師をお迎えして講演会を開催。

5) 創立 55 周年記念祝賀会の開催 (10 月)

(目的) 創立 55 周年を祝い、式典に参加いただいた方々に感謝するとともに懇親を図ることで周年の想いを共有する。

(方法) 盛大な祝賀会の開催。